

会 議 録

会議の名称	中野市立小学校及び中学校適正規模等基本方針（案）の修正案について 市民説明会
日時	平成 28 年 5 月 22 日(日) 午前 10 時 00 分～午前 11 時 00 分
会場	中野市立豊井小学校体育館
出席者等	・参加者 30 人 ・教育委員会出席者 11 人 教育委員長、教育長、委員長職務代理者、教育委員 2 人 教育次長、学校教育課長補佐、学校教育係長、事務局 3 名 ・報道機関 3 人 (信濃毎日新聞社、北信ローカル、北信ケーブルテレビ)
次第	1 開会 2 あいさつ 3 基本方針（案）修正案について 4 質疑 5 閉会
その他	添付資料：基本方針（案）修正案 豊田地域小学校統合計画敷地配置図（案）、通学距離 発言内容は別紙のとおり

(別紙)

中野市立小学校及び中学校適正規模等基本方針（案）の修正案について市民説明会

日時 平成 28 年 5 月 22 日（日）
午前 10 時 00 分～午前 11 時 00 分
会場 中野市立豊井小学校体育館

1 開会（AM10:00）

・進行：教育次長

2 あいさつ

・教育委員長あいさつ

3 基本方針（案）について

・教育次長から資料の説明

4 質疑

意見

- スクールバスの件ですが、私の地区では豊井小学校のスクールバスに該当しています。その経緯ですが、過去に砦と奥手山に分校があり、その辺が廃校になってスクールバス通学となりましたので、そのような事も加味していただき、距離的に近いからどうするというのではなく、考えていただきたいと思います。

回答

- わかりました。ありがとうございます。

意見

- まず修正案の文言の疑問点からお願いしたいと思います。2 ページの上の⑥「安全で十分な活動場所が確保できる学校規模であること」を消された理由をお願いします。

回答

- 学校は、安全で自由な活動場所が確保できていることが基準で、既に安全な施設でありますので、落とさせていただきました。

意見

- 本日配布された校舎の配置図によりますと、2階に小学校1年生から中学校3年生までの教室になっています。私自身は中学校3年生の娘がいますが毎月テストがあり、テスト前に

なると緊張して勉強します。テストは一日で終わりますが、ずっと沈黙でしっかり覚えてい
かないといけないのに、この配置で大丈夫なのでしょうか。

- 小学校1年生から6年生が同じ階の教室ということで、音楽会や運動会などの行事とか、
その他のソフト面等を加味していただけるのでしょうか。

回答

- 教室の配置の関係ですが、以前から小学生と中学生を同じ敷地や校舎にした場合には、で
きるだけ離すとか、できれば校舎は別棟の方が良いのではないかというご意見も頂戴してお
ります。小学生と中学生が一緒になった場合、最低同じ階でも、例えば途中で階段やトイレ
などが入りますと、さほど大きな影響はないという風に思います。中学3年生の子どもたち
が、定期考査やテストなどがあった場合、中学生の教室に近い小学校5.6年生は、特別教室
での授業にするとか、特別日課で組み入れるとか、そういった校内での操作はいくらでも可
能でございます。教育委員会では、子どもたちが特別教室、グラウンド、体育館、管理棟な
ど、どこをどう通るのか十分検討しております。

意見

- 行事もかわるといことですか。

回答

- 小学生と中学生の行事については、教育委員会で決定するものではなく、これは教育課程
の大事な部分でございますので学校長の判断となります。保護者の皆さんから行事に関して
どうしても困るといようなご意見があれば、例えば小学校の運動会と中学校の文化祭は同
じ日では困るなど、そういった時は日程を引き離すということは校長の判断でできます。
- 校舎の配置図につきましては、あくまでも予定ですので、今後多少の変更はお聞します。

意見

- 初めてこの説明会にだささせていただくので、前の経過等よく分からないでお話してしま
うかもしれませんが御了承下さい。一番思っていることは、小学校を一貫にするという言葉が
連携が変わったところ、ただし校舎については前と同じで、豊田中を使うとなっていますが、
あまり変わってないのかなという風に思われます。
- 適正規模の観点から、豊田地域は、小中あわせても各学年一クラスぐらいになるのが目に
見えていますが、こちらに住まわせてもらって非常に良いところだと感じています。小学校に
つきましては、地元の子どもたちが人間として根をはるような教育が非常に必要だと思っ
ているので、是非小学校はこの地域に残していただきたいと思っています。
- 中学校については、ゆくゆくはどこか中野地域の方に合併になっていくのかなと感じられ
るところではありますが、これで改修すると莫大なお金がかかる、財政的にもかなり厳しい
と思われるので、一足飛びに中野地域の中学校にひとまとめにすることも良いのではないか
なと思います。それをお話するきっかけは、一クラスとなると部活もかなり制約をされる。

今見ますとほぼ選択の余地がないような状況になっているので是非そういったところを何とかしてもらいたい、したいなど常々思っておりますので、この機会をチャンスと捉えて発言させていただいた次第です。お答えいただきたいのは小中一貫校のところと、適正規模のところになりますけれどもよろしくお願いします。

回答

- 一番根底にあることは、地域の子どもは地域が育てるという意味合いでおっしゃっていただいたのだと思います。これは豊田地区に限らず、その地域の中学校ブロックの中に大変貴重な文化財とか色々地域性を持っており、ふるさと学習を核としたカリキュラムを大事にしていきたいということは当然であります。今現在、豊井小も永田小も豊田中も「ふるさと学習」ということを、学校運営全体の中心においているぐらい現在大事にやっております。
- 当初の計画では、小中一貫校を提案させていただきましたが、多くの方から、仕組みがまだ分からないとか、実際に実践した学校の事例もまだ不明確であるとか、拙速に進めるべきではないなどの意見をいただきました。豊田地区においても、小中一貫校についてはすぐに導入すべきではないとのご意見がございました。教育委員会で協議し、修正案では小中一貫校を将来的には目指したいとしております。県内の各自治体でも非常に動きが活発になっていきますので、そのような動向もみていきたいと思っております。以前から申していますが、中野市内で豊田地区が一番小小、小中の連携教育が進んでおります。一緒に社会見学や合同学習をやっておりまして、授業研究も三校一緒にやっているぐらいで連携が非常に進んでおります。こういったものを、更に大事にしつつ、もっと発展していければいいなと思っております。
- 適正規模の関係ですが、中野市における小中学校の適正規模の基準として、小学校においては、1学年2学級以上、中学校においては1学年3学級以上としています。特に中学校の3学級以上とすると、たしかに部活動が活性化しますが、これはあくまでも基準で、これに当てはめると、なかなか統合が出来なくなります。なるべくこれには近づきたいのですが、地元から学校がなくなってしまうとのご意見もあり、その辺を色々判断いたしまして、豊田地域の小学校は一つにまとめて場所は豊田中、豊田中はそのまま残すという形で考えています。文科省のほうでも学校の標準的規模は示していますので、これがすべてにおいて良いかどうかは別になり、中野市といたしましては、地域の特性や「ふるさと学習」等が大事だということで、当面、適正規模の基準には足りないのですが、この修正案が適切であるということで、お示ししてございます。

意見

- ありがとうございます。説明をしていただいて理解できた部分が沢山だったので推し進めていただいて良い学校を作っていただければと思いますけれども、一つ立地的な問題なのですが、中学校のところに設置されるという案が出ていますけれど、豊井小もそうなのですが、新しく道が中学校の前に開通し、交通量が増えることが予想されます。豊井小学校の前の道もある程度交通量があり、小学校のところに横断歩道はあるが信号がない。小さい子ども、私も次に小学校に上がる子どもがいるのですけれど、道を渡らなければならないということ

で非常に不安な思いをしています。中学校の方に一緒になったとしても、この問題は消えないと思いますので、横断歩道はもちろん、信号や陸橋など、安全に渡れるような策をぜひ考えていただきたい。また、中学校の前の下ってくる道を飯山の方からくると、冬になると非常に凍って止まれないと感ずることがしばしばありますので、そこを子どもたちが歩いて下りてくる、そこへ車が来る、この状況は非常に親とすれば不安ですので、その対策が済んだ状態で設置の方をしていただければと思います。何度も言うようで申しわけありませんが、完璧といったら変ですけども、そういった対策が済んだ状態で進んでいただければと思いますのでよろしくお願いいたします。

回答

- 通学路の関係ですが、通学路の点検や、市道ですと中野市、県の歩道ですと県の管轄になってしまうので、関係機関と協議しながら進めていきたいと思います。今後もし統合でご理解をいただきましたら、通学路のついても安全に配慮して、整備できる部分は進めていきたいと考えています。

意見

- 基本方針策定にあたっての背景ということで、私何度か同じことを言わせていただきました。この小学校だけでなく豊田地区の小学校・中学校 PTA 等で色々なお話を聴きながら、これからの地域の事を想像していくと、学校は当然児童数・クラス等勘案していかないといけない。これは教育委員会がなされていることはもしかしてその方向かなと感じます。
- 平成29年度から信州型コミュニティスクールということで、地域と学校は一体ということで運営していく。例えば中学校がどこか行ってしまう場合に地域はどうなっていくかなと想像し、ちょっと不安を覚えました。4月に修正案をだされ、今日説明会、そして9月に基本方針決定ということですが、議論がまだ出尽くしていません。ここにも説明会の理解を得られたらと書かれていますが、理解の得られ方というかそれを改めてお聞きします。
- 前回100名参加されていましたが、今回も市内の保護者を対象にしてやるのだから、どこかの日にちにあてなくてはいけないのは分かりますが、非常に田んぼの忙しい時期で、前回の半数ということが理解を得られたというような状況なのかどうか。まだ議論が少ないのではないかな。もしかして教育委員会の言われた通りになるかもしれない、だけれども学校だけではなくて地域の人みんなで色々な観点から考えながらより素晴らしい意見を出さなければいけないのかな。それについては今日の説明会で判断されるというのは、私はちょっと時期尚早なのかなと。確かに予算を決定されたり実際に整備されたりする時間を考慮すると何年も前に判断をしなくてはいけないことも分かっていますが、私は強くもう少し期間をおいて、ここに書いてありますけれど、児童や生徒保護者を始め地域住民の十分な理解と協議を行いと書いてあります。通知を出されてここで説明会がございませうということだけで、決めてしまうのは非常に残念かなと。少ない人数でその雰囲気だけで決定されてしまうことは、私は非常に残念でしょうがありません。決定の考え方からもう一回考えていただき、地域で話し合える場を作っていただいてから決定にしていいただきたいと思います。

- それと、これから小学校中学校に出す保育園の保護者がどのようなことを考えていられるのかアンケートを取ろうと思って、この間それぞれの保育園の園長先生にお願いをしてアンケートを配って下さいとお願いしたら、駄目だと言われました。この話は教育委員会へは入ってきているのでしょうか。

回答

- 十分な協議の時間の中で新たなものが生み出されてくるのではないかというようなご意見は前からお聞きしております。しかし、方やわずか三人四人というクラスが出てきていて、その保護者あるいはPTAのみなさんから、このまま放っておいていいのか、議論する場合にはないと強い声もあります。十分な議論をということもありますが、人数が少ない学校では正直苦しんでいる部分があります。コミュニティスクールの立上げで、ボランティアの皆さんにも助けられてありがたいという声もあります。色々なご意見がありますが、私共は放っておいてはいけない部分是对应していかないといけない。出来ることをやっていかななくてはならない、こういう思いでございます。ご意見等たくさん寄せていただき十分精査しているつもりではございますが、その辺のところでご理解いただければと思います。
- 雰囲気理解を得られたととるのは具合が悪いというようなお話がございますが、かと言ってここで出席者の皆さんに賛成反対で挙手をというのは教育委員会としてやるつもりはございません。もしここで発言なさらない方でこういう思いがあるのだということがあれば、しっかりと書いていただいて反対なら反対、賛成なら賛成で結構でございます。このような点を対応してもらいたいという要望等もお書きいただければそれを含めて教育委員会でも協議して参りたいと思っております。
- 保育園の関係は子ども部が所管しており、アンケートの件については保育課の方から話は聞いております。ただ保育園に関しては、色々な業者や保護者から通知等を配ってほしいという要望はあるのですが、敷地の中でなくて一步敷地を外に出て保護者の方が配っていただけるのは自由であるけれども、園をとおしては配布しないという方針だそうですので申し訳ないのですが今回もお断りしたという経過がございます。

意見

- 保育園の話ですが、今回の事態これは地域住民でいうと、これから小学校に子どもを出される保育園の保護者等も当然関わってくる重大な話だと思います。業者が配布するものと性格が違うのではと考えます。この問題についてこの人に聞きたいのだけどそういう要請があったら配ってほしいとお願いすることは教育委員会ではできないのでしょうか。

回答

- この地域だけでなく他の地域でも適正規模の関係でアンケートを配ってほしいという件があったのですが、保育課方針でやってございません。今回業者とは違うという面も承知はしておりますが、教育委員会といたしまして所管が違いますので申し訳ありませんが、伝えることは伝えますのでご理解いただきたいと思います。

意見

- 基本方針の決定はその場の雰囲気という言い方をされましたが、いずれにしても決定されると思うが、教育委員会でお考えになったことが、分からないまま教育委員会の思い通りになってしまう可能性があります。私は以前お話したギブアップ制みたいな形がとれば、地域・学校がどうだって、住民のみんなの話し合いがその場で持たれると思います。その先を判断するというので、一も二もなく判断なると思います。そこら辺を強く要請してそのようにお考えになっていただくようにということで要望いたします。

回答

- アンケートの件ですが、一番最初に検討委員会と言う答申を出した皆さん方が、各小中学校の全保護者にアンケートを実施しております。答申をいただいた時、貴重なアンケートであるので十分考慮配慮また大事にしてくださいということでいただいております。スタートはその時のアンケートを私共が目を通しまして、そのあと中野市内全部ではございませぬが例えば豊田地区でもアンケートをおやりになっている話は聞いております。他の地区でもPTAのアンケート調査をしたところがありますが、ただし結果についてオープンにできないという対応をなされたところもあれば、結果をオープンにしている所もございませぬ。そのようにところも全部加味しながら対応しております。

意見

- 答申をとられたアンケートなのですが、これは適正規模の方針を出された後のアンケートじゃなくて、その前段のアンケートですよね。こうなるということで前提にアンケートを取られるとまた違う結果が出てくると思うのですよ。その辺がありますので、今回の保育園の保護者アンケート等につながってこれが住民の中で話し合う良い機会かなと。さっきから言うように確かに子どもが少なくて、学校は子どもが大勢で育った方が良いことも分かります。しかしそこに学校があるということも地域として必要な場合もあります。そこら辺を十分に地域住民で話す場というのが去年の6月の終わりからあまりないわけですよ、その中で決定されてしまいますと非常に残念でしょうがないのです。

回答

- 検討委員会のアンケートは確かに答申が出される前に色々参考になされるということで取られたと思います。今お子さんが行っている小学校が小さいと思うか、もう少し大きいところに行きたいか、もう少し規模が小さい学校へ行きたいか、その辺のところを大変細かくアンケートを取っています。答申が出る前ですが、それがすべてではございませぬが保護者の気持ちというものも少し垣間見ることができると、そのようない意味合いで申しているわけです。

意見

- 高社中校区の4小学校のところは当面のところは4小学校とし将来的には小中一貫校をめざす。豊田中学校区も将来的には小中一貫校を目指す。他の学校については小中一貫の言葉がございません、ここら辺はどのようにお考えでいらっしゃいますか。

回答

- 豊田ブロックと高社ブロック以外のところは小中一貫と言うのは申しておりません。今回の修正案のところ具体的に言うと日野小、高丘小の推移を見て、学校運営で色々なことが出てきます。もし減った場合、その時に小中一貫校だけでなく中野小分割問題とか色々なものが入りこんできます。今回の見直しの段階では小中一貫という気持ちもあるわけですが、あえてここに文言とは表現してないのであります。

意見

- 高社中学校区、豊田中学校区両方とも、人数が少ない学校が小中一貫校ということで、これは将来的には子どもが減って先生を配置するのが大変だからという意味合いが大変強いのでしょうか。要するに前回お話しした教科担任制になった場合、先生がなかなか張り付けられないというのがあるから小中一貫と言う意味合いですか。

回答

- 決してそういうことを前提にして教育委員会で考えたものではありません。小中一貫校にした場合には先生がこれだけ少なくなって、でも教科担任制でクリアできるという試算をして、それが前提で小中一貫としたわけではありません。

5 閉会 (11:00)